

学習指導要領		成瀬高校スタンダード
(1) 原始・古代の日本と東アジア	原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。 イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽について考察させる。	〔日本文化の黎明〕 ・旧石器文化から縄文文化への移行を理解する。また、呪術的な風習の意味を理解する。 ・弥生時代の社会の変化について、理解する。 〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕 ・小国の形成や抗争の背景と邪馬台国成立に至る経緯などについて理解する。 ・大和政権による国内統一の過程を古墳文化の変化と関連付けて理解する。 ・推古朝の具体的な内容について理解する。 ・大化改新から天武・持統朝までの各時期の政策に着目し、律令制度の確立過程とその統治体制の特色を理解する。 ・平城京の時代を仏教思想と関連付けて理解し、藤原氏の進出と政界の動揺について理解する。 〔古代国家の推移〕 ・平安京遷都や東北経営の背景や意義について理解する。 ・藤原北家発展の具体的な経緯と摂関政治の仕組みについて理解する。
(2) 中世の日本と東アジア	中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。 イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔中世社会の萌芽〕 ・初期荘園から寄進地系荘園成立に至る荘園支配の動向について理解する。 ・武士団の成長と地方の反乱について理解する。 〔中世国家の形成過程や社会の仕組み〕 ・院政の機構など専制的な政治体制などの特色を理解する。 ・武士の中央進出の経緯と平氏政権の成立について理解する。 ・源平の争乱の推移、鎌倉幕府の支配機構について理解する。 ・北条氏台頭の経緯、承久の乱の背景、執権政治の特色について理解する。 ・御成敗式目の道理を理解する。また、惣領制を中心とした武士の生活について理解する。 ・東アジア世界の動向から見た蒙古襲来の意義、得宗専制政治確立の背景、永仁の徳政令発布の目的などについて理解する。

	学習指導要領	成瀬高校スタンダード
(3) 近 世 の 日 本 と 世 界	近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の説明 歴史的な事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。 イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。	・新仏教各宗派の違いについて理解する。 〔中世社会の多様な展開〕 ・建武の新政の内容とその特色、南北朝動乱の経緯について理解する。 ・守護大名による土地侵略と室町幕府の支配機構を理解する。 ・応仁の乱の原因と影響について理解する。また、代表的な戦国大名が登場する経緯や分国法・城下町を理解する。 ・勘合貿易の推移と幕府が勘合貿易に積極的であった理由について理解する。 〔近世国家の形成とその特色や社会の仕組み〕 ・ヨーロッパ世界との接触とその影響や東アジアにおける国際関係も視野に入れて、織豊政権の特色を理解する。 ・幕藩の支配機構、農村支配、経済的基盤、身分制度などの全国支配の仕組みを理解する。 ・鎖国体制に至る過程や鎖国下で交流のあった国や地域との関係を知り、鎖国の影響を理解する。 〔産業経済の発展や文化の特色〕 ・元禄時代や正徳の治の担い手と具体的な政策を理解する。 ・国内経済発展の背景として、農業・商業の活発化、交通の整備、貨幣制度の確立などについて理解する。

	学習指導要領	成瀬高校スタンダード
(4) 近代 代の の 日本 と 世界	近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。 ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。 近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。	〔近代国家の成立〕 ・開国と対外貿易開始が社会に与えた影響について、理解する。 ・幕末の政治的動乱について、尊王攘夷派と公武合体派、さらには武力討幕派の形成と広義政体派の動向について理解する。 ・江戸幕府の滅亡と新政府の成立について理解する。 ・明治維新について、明治初期の一連の富国強兵策・殖産興業策について理解する。 ・明治初期の外交について、国内政治事情・条約改正問題と関連づけつつ理解する。 ・自由民権運動について様々な事件・出来事と関連させて理解する。 ・立憲国家の成立について、自由民権運動の目指していた国家との相違・矛盾について理解する。 ・日清戦争・日露戦争について国際的な背景と関連づけて理解する。 ・近代産業の発展について、日本における第一次産業革命・第二次産業革命の特徴とその問題点を理解する。 〔二つの大戦とアジア〕 ・政党政治の成立とその展開について、理解する。 ・第一次世界大戦について、日本の大陸侵略と関連づけて理解する。 ・大戦景気について、その内実・日本的限界について理解する。 ・第一次世界大戦後、推進された国際協調体制について欧米との関係、アジア戦略と関連づけて理解する。 ・大正デモクラシーについてその特徴を理解する。 ・戦後恐慌・震災恐慌・金融恐慌・昭和恐慌について

	学習指導要領	成瀬高校スタンダード
(5) 現代 の 日 本 と 激 動 の 国 際 社 会	ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。	て、それらの恐慌が起きた原因と政府の対策、経済界・社会に与えた影響について理解する。 ・社会不安が続く中、軍部が台頭し、次第に政治的主導権を獲得していく過程について理解する。 ・日本軍による大陸侵略について、その政治的背景・経済的背景に留意しつつ、どのようにすすめられていったかを理解する。 ・日中戦争・アジア太平洋戦争について、その過程とアジア諸民族に与えた被害と現代にもおよぶ影響を理解する。
	現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。	〔占領下の日本〕 ・GHQによる占領政策と日本の民主化について理解する。
	ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。	・アメリカの占領政策の転換を、冷戦の開始による国際情勢の変化と関連づけながら理解する。 ・サンフランシスコ講和条約とその後の安保体制について理解する。
	イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。	〔高度成長の時代〕 ・日本の戦後政治の変遷について理解する。 ・高度経済成長と社会・生活の変化について、国際情勢と関連づけながら理解する。
	ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	〔激動する世界と日本〕 ・ドルショック・オイルショックが日本経済に及ぼした影響について理解する。 ・その後の低成長の時代について、特にアジア情勢と関連づけながら理解する。 ・バブル経済とその破綻、平成不況について、国内政治・国際情勢と関連づけながら理解する。

学習指導要領		成瀬高校スタンダード